

通算10万部突破！ 手配りサポーターの皆様いつもありがとうございます

月間東郷

www.togotetsuya.com



発行元：東郷てつや後援会

〒463-0072

名古屋市守山区金屋2-181

TEL & FAX 052-791-2229

tztogo@ma4.jusutnet.ne.jp

2006年2月号 (No25)

この新聞はすべて手作りです。またボランティアの
皆様による手配りです。ぜひお読みください。 <後援会資料>

東郷てつや 少子化対策を提言！

先月号では、今後深刻な超少子・高齢社会を迎え、これまでの日本の社会保障制度の根幹を揺るがすような危機的な状況にあることを指摘しました。また出生率も1.29人となり、日本の人口が減少期に入りました。戦後60年を迎えこれまでの日本の戦後復興、高度経済成長を支えてきた団塊世代がまもなく大量定年を迎え、年金の受給開始となります。また高度経済成長期から40年余りが経ち社会資本の寿命による立替がピークを迎えます。さらには小渕政権での景気対策として行なわれた10年国債の償還時期が重なる、いわゆる2007年問題に直面します。

そうした中、それらを支えていく世代が少子化や社会環境の変化に伴ない過大な負担を強いられることとなります。この少子化の問題については女性の社会進出や晩婚化などありますが、将来不安や教育にお金がかかることが最大原因といえます。

私はこの問題について、以下緊急な取り組みが必要と考えます。

①雇用セーフティネットの整備～NPOや環境、福祉などの分野での新規雇用の創出により、定年後も働ける環境、そして年金や保険料を公平に負担するしくみをつくる。また若年層が安定就業できる環境を整える。

②子育て支援～育児休暇制度の徹底。延長・夜間保育や休日保育を行ない待機児童の問題を解決し、女性の働く環境を整備する。また児童手当や医療費の面での助成を拡大し、子どもを生み、育てやすい環境を整備する。

③マイホーム支援～低利融資や税制面などの緩和により誰もがマイホームを取得できるようにすることが必要です。(老後の不安解消、働く世代の負担軽減)

その他、将来不安を払拭するためには、年金・介護制度の抜本的見直しも必要です。



東郷てつやのProfile

- 昭和46年4月17日生まれ
名古屋外国語大学卒(学生会長)
ユネスコの外郭団体で国際平和教育活動を行う
名古屋日中交流センター設立、理事長
- 衆議院議員秘書を経て
平成15年名古屋市議会議員選挙(守山区)にて
次点惜敗(6157票)
現在、リベラル政策研究会代表
- 政治信条 正義感、責任感、有言実行
- 趣味 テニス、ゴルフ、サッカー、野球、旅行、書道
- 家族 妻、二児(6才と0才)

(H.17.7.現在)

東郷 哲也



再生紙使用：「環境」に取り組みます